



2021年2月10日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディコミュニケーションセンター

(ドイツ本国発表資料)

Audi e-tron GT：まったく新しいアウディの世界を創出

要約版	2
仕様とスペック	3
製品ハイライト	
詳細版	6
▶ ポジショニング	6
▶ エクステリアデザインとエアロダイナミクス	7
▶ ヘッドライトとライト	10
▶ インテリアデザインとインテリア	11
▶ 駆動および回生システム	12
▶ バッテリーとサーマルマネジメント	14
▶ サスペンション	15
▶ 運転支援システム	17
▶ e-tron スポーツサウンド	17
▶ 操作系とディスプレイ	18
▶ インフォテインメントと Audi connect	18
▶ クラフトマンシップとスマートファクトリーの融合	19

本資料に記載されている装備、データ、価格はいずれもドイツで販売予定のものです。
内容は予告なく変更されることがあり、日本仕様・価格は未定です。



要約版

Audi e-tron GT：スポーティで先進的な電気自動車

アウディは、Audi e-tron GT を発表します。この4ドアクーペは、電気自動車がどれほど魅力的なものかを示すモデルで、エモーショナルなデザイン、パワフルな駆動システム、ダイナミックなハンドリングを兼ね備えています。Audi e-tron GT は、新たな時代の始まりを示す、未来のグランツーリスモです。

まったく新しいアウディの世界を創出するニューモデル。アウディは、Audi e-tron GT により、エモーショナルで魅力的なモビリティの未来を示します。アウディは 2021 年 2 月、電気自動車のグランツーリスモ、Audi e-tron GT quattro と Audi RS e-tron GT の受注を開始します。どちらのモデルもパワフル、俊敏、ダイナミックで、ゼロエミッションによる走行を実現しています。これらの資質は、グランツーリスモのコンセプトを再解釈する力強いキャラクターと組み合わせられています。

Audi e-tron GT のエクステリアは、自動車の芸術作品と呼ぶにふさわしいダイナミックなデザインを特徴としています。オプションでレーザーライトを選択可能なヘッドライトから、リヤの大型ディフューザーに至るまで、エクステリアのボディパネルとラインは見事に調和しています。そのボディラインは、まるで風によって形作られたように見える彫刻的な造形を特徴とし、非常に優れた空力性能を誇ります。Cd 値（空気抵抗係数）はわずか 0.24 です。インテリアも典型的なグランツーリスモデザインと調和しています。運転席と助手席はスポーティな低いポジションに設定され、幅広いセンターコンソールで仕切られています。リヤシートには、大人が寛げるスペースが確保されています。インテリアデザインの先進的なエレガンスは、このクルマの進歩的なキャラクターを強調しています。

このグランツーリスモは、ダイナミックなハンドリングを備えた長距離ツアラーです。このキャラクターは、Audi e-tron GT の 2 つのバージョンに共通しています。モデルに応じて、電気モーターは 350kW (476PS) または 440kW (598PS) の出力を発生し、ダイナミックな加速を実現するブーストモードを利用することも可能です。さらに重要なことは、実際の使用容量 84kWh のバッテリーによって、最大 487km（欧州 WLTP モード）という長い航続距離を実現している点です。800V テクノロジーにより、最大 270kW の出力で急速 DC（直流）充電することが可能です（欧州の充電環の場合）。サスペンションは、アウディドライブセレクト、オールホイールステアリング（4 輪操舵）、電子制御式ダンパー、3 チャンバー式エアサスペンション、電動 4 輪駆動、リヤアクスルディファレンシャルロックなどの先進技術により、ダイナミズムと快適性を巧みにバランスさせています。ホイールサイズは最大 21 インチで、ブレーキディスク（オプションでカーボンファイバーセラミックを選択可能）の直径は最大 420mm です。

すべてのアウディモデルと同様、Audi e-tron GT も完全なコネクテッド機能を備えています。最新世代のエンターテインメント、Audi connect オンラインサービス、運転支援システムも装備しています。さらに、このダイナミックな芸術作品は、サウンドにもこだわっています。アウディは、Audi e-tron GT のためにユニークな走行サウンドを作成しました。そのサウンドは、これまでのアウディと同様、パワフルで先進的です。



製品ハイライト

* ドイツ仕様に基づく記述です。日本仕様では装備や充電に関して異なる場合があります。

Audi e-tron GT quattro および Audi RS e-tron GT

ポジショニング

- グランツーリスモのコンセプトを再解釈：エレガントでダイナミックなデザインとパワフルな電気駆動システムを備えた4ドアクーペ。日常走行のみならず、ロングドライブにも完璧に対応。
- Audi RS e-tron GT は、アウディおよび Audi Sport GmbH における電動化モデルの先駆的存在。
- エモーショナルなシグネチャーと未来的なデザイン。

エクステリアデザイン、エアロダイナミクス、ボディ

- e モビリティにシフトするアウディが開発したグランツーリスモ モデル：優れたスポーツ性能と快適性に持続可能性を融合。
- スポーティなプロポーション：大径ホイール、ワイドなトレッド、フラットなシルエット、長いホイールベース。
- 流麗なラインを描く新しいデザイン言語：効率を追求して生み出された美しいスタイル。
- 彫刻的なデザイン：低く構えたシングルフレームグリル、非常に特徴的な quattro ブリスター、大きく傾斜したルーフラインとフラットなウィンドウエリア、凹面を特徴とするリヤエンド。
- わずか 0.24 の Cd 値により、優れた効率と長距離走行が可能。ブレーキとラジエーター用の電動開閉式エアインテーク、2 段階に展開するリヤスポイラー、完全にパネルで覆われたアンダーボディ、ワイドなディフューザー。
- パッセンジャーセルに採用された超高張力鋼と強化されたバッテリーハウジングにより、高い剛性と衝突安全性を確保。アルミニウム製のボディパネルを採用。
- 全長 4.99m、全幅 1.96m、全高わずか 1.41m、フラットなボディライン、405ℓ の容量を備えたラゲッジコンパートメント (RS モデルでは 366 ℓ)

ヘッドライトとライト

- マトリクス LED ヘッドライトは Audi RS e-tron GT に標準装備、Audi e-tron GT quattro にオプション設定。
- ハイビームの照射範囲が2倍になるアウディレーザーライト付きマトリクス LED ヘッドライトは、両モデルにオプション設定。
- ライトストリップを備えたリヤライト。最上位ヘッドライトは、ダイナミックカミングホーム & リービングホーム アニメーションを装備。

インテリアデザインとインテリア

- ドライバーを包み込むような“モノポスト”デザインを採用したインストルメントパネル、開放感のある室内空間。
- 低いシートポジションと幅広いセンターコンソール、リヤシートは大人が寛げるスペースを提供。
- 優れたスポーツ性と快適性に持続可能性を融合：レザーを使用しないインテリア、インテリアトリムや張地に数多くのリサイクル素材を使用。



- 複数のデザインパッケージを設定、特別装備を特徴とする RS モデル。

駆動および回生システム

- フロントアクスルとリアアクスルに永久励磁同期モーター（PSM）を備えた電動 4 輪駆動、リアアクスルに 2 速トランスミッションを採用。
- Audi e-tron GT quattro は最高出力 350kW（476PS）/最大トルク 630Nm（ブーストモードでは 640Nm）、Audi RS e-tron GT は最高出力 440kW（598PS）/最大トルク 830Nm、ローンチコントロールを使用すると最大出力 390kW（530PS）または 475kW（646PS）。RS モデルのブーストモードは最大 2.5 秒間利用可能。
- 0～100km/h 加速は 4.1 秒または 3.3 秒（RS モデル）、最高速度は 245km/h または 250km/h（RS モデル）。
- コースティング（惰性走行）と回生モードのインテリジェントな制御、ブレーキ回生能力は最大 265kW。

バッテリーとサーマルマネージメント

- 実際の使用容量 84kWh（総容量 93kWh）のリチウムイオンバッテリー、電圧レベル 800V、33 のモジュールに分割された 396 個のポーチセルを搭載。
- AC（交流）充電の標準出力は 11kW、22kW の AC 充電は市場導入後まもなく利用可能、DC（直流）充電の最大出力は 270kW（欧州の充電環境の場合）
- 1 回の充電で走行可能な距離は 487km（欧州 WLTP モード：Audi e-tron GT quattro）、270kW を利用できる場合、わずか 5 分間の充電で約 100km を走行可能。
- 4 つの冷却回路、効率的なヒートポンプによる洗練されたサーマルマネージメントシステム、急速 DC 充電用のプレコンディショニング機能。
- ヨーロッパでは約 20 万ヵ所の充電ステーションが利用可能、魅力的な料金の e-tronCharging Service。

サスペンション

- バッテリーの搭載位置と電気モーターの配置により、低い重心と優れた前後重量配分を実現。
- 標準装備：電子制御式ダンパー、リアアクスルディファレンシャルロック、アウディドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステム。
- オプション（RS モデルには標準装備）：電子制御式リアアクスルディファレンシャルロック、3 チャンバー式アダプティブエアサスペンション、オールホイールステアリング（4 輪操舵：両モデルにオプション）。
- オプション：タングステンカーバイドコーティングを施したブレーキディスク（RS モデルには標準装備）、カーボンファイバーセラミック製ブレーキディスク（両モデルにオプション）。
- 19～21 インチホイール（その多くはエアロデザイン）、エアロブレード付き 20 インチおよび 21 インチホイール。



運転支援システム

- アウディプレセンス セーフティシステムを標準装備、オプションの「Tour」、「City」、「Park」パッケージ、システムのハイライトは、アダプティブクルーズアシストおよび（リモート）パークアシストプラス。

e-tron スポーツサウンド

- 法令で規定されている音をさらに洗練させた AVAS サウンドを標準装備。
- アウディドライブセレクトの設定に応じて、追加のエクステリアおよびインテリアサウンドを発生する e-tron スポーツサウンド（RS e-tron GT で標準装備）。

操作系とディスプレイ

- アウディバーチャルコックピットプラス（12.3 インチ）と MMI タッチディスプレイ（10.1 インチ）を標準装備、オンラインサーチと日常会話に対応したボイスコントロール、ヘッドアップディスプレイ（オプション）、パーソナライゼーション機能を標準装備。

インフォテインメントと Audi connect

- Wi-Fi ホットスポット機能を備えた MMI ナビゲーションプラスを標準装備、Audi e-tron 専用機能を備えたインテリジェントナビゲーション。
- Audi connect の幅広いサービス、急速充電ステーションを使用して可能な限り最短の充電時間で最速ルート进行計算するための e-tron ルートプランナー。
- アウディフォンボックスと Bang & Olufsen プレミアムサウンドシステム（オプション。RS e-tron GT では標準装備）

クラフトマンシップとスマートファクトリーの融合

- Audi e-tron GT は、スマートファクトリーテクノロジーとクラフトマンシップを組み合わせたネッカーズルムのベーリンガーホフ工場生産。
- カーボンニュートラルな生産、グリーン電力とバイオガスを使用。
- 独立した革新的なボディショップ、Audi R8 と組立ラインを共有。



詳細版

Audi e-tron GT quattro、Audi RS e-tron GT : ダイナミズム、効率、エレガンス

Audi e-tron GT は、e モビリティが非常にダイナミックで魅力的なものになりつつあることを証明するモデルです。RS モデルと同時に市場に導入されるこの 4 ドアクーペは、典型的なグランツーリスモのコンセプトを再定義したものです。そのデザインは非常にエモーショナルで、革新的なテクノロジーを採用しています。パワフルな 2 基の電気モーターが電動 4 輪駆動を実現し、驚異的なパフォーマンスを提供します。実際の使用容量 84kWh の高電圧バッテリーは、最大 487 km（欧州 WLTP モード：Audi e-tron GT quattro）の航続距離を可能にし、800V テクノロジーにより高出力で急速充電することが可能です。サスペンション、ライト、コントロール、コネクティビティ、e-tron スポーツサウンド：Audi e-tron GT quattro および Audi RS e-tron GT は、アウディが長年にわたって蓄積してきた専門知識を活用し、あらゆるディテールにこだわるアウディの情熱を明確に示すモデルです。

ポジショニング

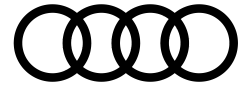
アウディ初の電気自動車、Audi e-tron と Audi e-tron Sportback 両 SUV モデルは、アウディによる e モビリティへのシフトを先導するモデルです。今回、アウディとして 2 番目のモデルとなる 4 ドアの Audi e-tron GT クーペは、ダイナミックなエレガンスを表現し、まったく新しいアウディの世界を創出するグランツーリスモです。Audi e-tron GT は、パワフルでスポーティ、自信に満ち溢れ、エモーショナルなデザインを特徴としています。このニューモデルには、アウディのエンジニアとデザイナーのすべての情熱が注ぎ込まれています。

Audi RS e-tron GT と Audi e-tron GT quattro は、日常走行における優れた使い勝手、ロングドライブに対応する能力を備えた、パワフルで自信に満ちたクルマです。完璧な設計、魅力的なデザイン、革新的な技術により、Audi e-tron GT は、自動車の芸術作品と呼ぶにふさわしいクルマに仕上がっています。その特徴は、先進的なエンジニアリングによる走行特性、純粋な走る喜び、美しさを追求したデザイン、アウディならではの完璧な仕上げ品質です。

スポーティで先進的な電気自動車：Audi e-tron GT はアウディ電気自動車のフラッグシップモデル

Audi e-tron GT は、アウディの歴史に新たな章を追加します。このクルマは、最高のグランツーリスモであり、RS バージョンは特にダイナミックなハンドリングを備えています。また、表現力豊かなデザイン、パワフルな電気モーター、優れた効率、日常走行における使い勝手の良さも兼ね備えています。これらの特性により、Audi e-tron GT は、ブランドの未来を示す先駆的なモデルとなっています。Audi e-tron GT は、「Vorsprung durch Technik（技術における先進）」を具現し、電気自動車のフラッグシップモデルとして、アウディの高い基準を強調するスポーティで先進的なクルマです。

Audi e-tron GT は、持続可能性、デザイン、ハイテクを重視する、洗練されたパフォーマンス志向のお客様を念頭に置いて開発されました。その多くは中高年層で、高い教育を受けており、高収入で、



複数のクルマを購入することができる方々です。彼らは、洗練された加速を好み、ディテールに至るまでこだわり、アウディによる最高の組付け精度と品質を愛しています。

この新しい電気自動車のグランツーリスモ（2つのバージョン）は、2021年2月に受注を開始します。ドイツにおけるベース価格は、Audi e-tron GT quattro が 99,800 ユーロ、Audi RS e-tron quattro が 138,200 ユーロです。この RS モデルは、アウディによるダイナミックな電気自動車の先駆けとなるクルマです。システム出力は 440kW（598PS）、0～100km/h 加速は 3.3 秒（ブーストモード使用時）です。ハイテクサスペンションには、3 チャンバー式エアサスペンション、オールホイールステアリング（オプション）、電子制御式リヤアクスルディファレンシャルロックが含まれています。

エクステリアデザインとエアロダイナミクス

Audi e-tron GT は、エモーショナルな 4 ドアクーペであり、新しいアウディブランドを象徴するモデルです。この電気自動車のフラッグシップモデルは、スポーティ、先進的、革新的なアウディブランドの高い基準を強調し、表現力豊かなデザイン言語を備えています。

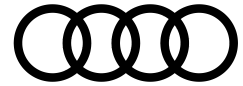
未来のデザインを示す、エモーショナルなフラッグシップモデル

アウディは 2014 年に、未来のフルサイズクラスのデザイン言語を表現したデザインスタディ、「Audi prologue」を発表しました。今回発表する Audi e-tron GT は、そのデザイン言語をさらに進化させたものです。このグランツーリスモは、彫刻的なデザインで見る者を魅了します。このデザインには、現行フルサイズクラスのモデルの特徴となっている、優れたプロポーションも採用しています。つまり、長いホイールベース、幅広いトレッド、大きなホイール、そしてフラットなシルエットです。Audi e-tron GT は、まさに理想的なプロポーションを備えています。この新しいデザイン言語は、アウディの未来の電気自動車デザインの出発点となるもので、現行モデルをはるかに超える、流れるようなエクステリアデザインを特徴としています。

そのスタイルには、デザインのためのデザインではなく、形態は機能に従うという、アウディが常に重視してきたコンセプトが貫かれています。電気自動車である Audi e-tron GT のデザインは、洗練されたエアロダイナミクスを特徴とし、効率を徹底的に追及することによって、美しいスタイルが生み出されています。Audi e-tron GT は、アウディ初の電気自動車である Audi e-tron の確立されたデザインエレメントを採用し、これに的を絞りさらに洗練させています。エレメントの一例は、ドアシルトリム上の力強いインサートです。このインサートは、車両中央に設置されたバッテリーパックの存在を強調しています。

電気自動車のグランツーリスモ：典型的なグランツーリスモのキャラクターと新たな視点

優れたスポーツ性と快適性。これらは、典型的なグランツーリスモの要素です。Audi e-tron GT の開発にあたり、これらの要素を取り入れた上で、e モビリティにおいて重要な役割を果たす、持続可能性という新たな視点を追加しています。それは、初期のデザインスケッチから始まり、すべての設計作業に適用されてきました。Audi e-tron GT は、エアロダイナミクスを最適化することにより、持続可能性を目に見える形で表現しています。0.24 の低い Cd 値は効率のレベルを高め、より長い航続距



離を可能にしています。

これらの基本的なアイデアは、Audi e-tron GT のインテリアにも見て取ることができます。その一例が、ドライバー指向のダッシュボードです。スポーティなアウディモデル特有のこの造形は、広々としたインテリアデザインと組み合わせられ、快適でスポーティなツーリングスポーツカーとしてのキャラクターを表現しています。さらに、Audi e-tron GT のインテリアは、その大部分がリサイクル素材から構成されており、レザーを使用しないデザインパッケージもオプションで用意しています。これにより、電気自動車のグランツーリスモにとって、持続可能性が重要な側面であることを示しています。

エクステリアデザイン：完璧なプロポーション、彫刻的でダイナミックな造形

この電気自動車のグランツーリスモは、アウディのデザイン言語における新たな側面を表現し、一つの大きな塊から削り出したような彫刻的な造形を特徴としています。

Audi e-tron GT は、大容量バッテリーを搭載した電気自動車のパッケージングと、フラットなシルエットとパワフルなプロポーションを備えたグランツーリスモの魅力的なデザインは矛盾しないことを証明しています。これは、バッテリーパックの巧みな搭載方法によって可能になっています。リヤシートに乗員は、フットガレージと呼ばれる場所に足を置くことができます。これにより、フラットなルーフラインと低い着座位置にもかかわらず、広いヘッドルームを確保することが可能になりました。最大 21 インチのホイールを収めるホイールアーチと 2.90m のホイールベースを組み合わせることで理想的なプロポーションが生み出され、このハイパフォーマンス GT に類まれな存在感をもたらしています。

アウディのエンブレム「フォーリングス」が装着された表現力豊かなシングルフレームグリルは、Audi e-tron GT が電気自動車であることを明確に示しています。クラシックなハニカムパターンを再解釈したラジエーターグリルは、ライトグレーもしくはアウディでは初めてとなるボディ同色に塗装され、グリルとサイドインテークにはダークグレーのフレームが装着されています。内燃エンジン搭載モデルにおけるシングルフレームの主な目的はエンジンを冷却することですが、Audi e-tron GT のグリル内部には、センサーの多くが隠されています。エアの吸入口は、グリル下部にのみ設置されています。

電気駆動システム特有のパッケージングによって低くフラットなフロントエンドが実現し、ドライバーが道路を見渡すことができる、優れた前方視界を提供します。ボンネット両側のフェンダー部分が力強いカーブを描いているため、視界の良さがさらに強調されています。このフロントビューは、ダイナミックな走りといまわって、電気自動車のグランツーリスモならではのドライブ体験を提供します。

サイドビュー：流れるようなライン

サイドビューの特徴は、流れるようなラインです。長いボンネットとフラットなフロントウィンドーは、大きく傾斜したルーフラインへと流れ込んでいます。サイドウィンドーは、力強い造形のボディに緊張感をもたらしています。サイドウィンドーはリヤに向かって大きく傾斜し、なだらかに傾斜した C ピラーとともに、筋肉質なショルダー部分に溶け込んでいます。



大きなホイールアーチには、鋭いエッジが走っています。この quattro ブリスターは、彫刻的なホイールアーチの存在感をさらに高め、このクルマが電動 4 輪駆動システムを搭載していることを暗示しています。quattro ブリスターは、数多くのアウディモデルの特徴となっていますが、Audi e-tron GT では、その存在感が、かつてないほど高められています。quattro ドライブの存在は、ボディの低い重心位置と、大きく湾曲したボディ中央のウエストラインによって、さらに強調されています。スリムで長い“Sportback”スタイルのフラットなルーフラインは、Audi A7 Sportback よりもさらに 17mm 低く設定され、Audi e-tron GT のスポーティなボディラインを際立たせています。

左右のリヤライトは、フラットなライトストリップで接続されています。視覚的にオフセットされたディフューザーは、アウディ製品ポートフォリオの中で紛れもない外観を創出しています。そして、スポイラーリップが組み込まれたトランクリッドにより、スポーティなスタイルを完璧に成立させています。

19～21 インチのホイールは、パワフルなデザインを際立たせ、車両が停止していてもスポーティなキャラクターを明確に表現しています。ボディカラーは、新色のタクティカルグリーンを含む 9 色が用意されています。好みに応じて 2 種類のブラックスタイリングパッケージが選択でき、シングルフレームやマスク、サイドシル、ドアインサート、そしてディフューザーがブラックアウトされるものに加えて、ブラックスタイリングパッケージプラスではフォーリングスやバッジがグロスブラックとなります。3 種類のカーボンパッケージを選択すると、エクステリアをさらに洗練された雰囲気にすることができます。アウディは、オプションで、カーボンファイバー強化ポリマー（CFRP）製のドアミラーハウジングとルーフも用意しています。ルーフには、断熱ガラスが標準装備されています。

チームワーク：デザインとエアロダイナミクスの出会い

エアロダイナミクスは、Audi e-tron GT にとって非常に重要な設計上の要件となっています。Cd 値わずか 0.24 の Audi e-tron GT のデザインは、風によって形作られたように見えます。この優れた値は、デザイナーと空力エンジニアの緊密な協力によって実現しました。

空力面では、フロント下部のエアインテークが重要な役割を果たしています。車体の左右を流れるエアカーテンは、フロントホイールの近くを通過し、ボディ側面に沿ってリヤホイールアーチへと導かれます。20/21 インチホイールには、2～3mm の厚さの小さなエアロブレードを備えたものもあります。このブレードにより、エアロダイナミクスの効率がさらに高まっています。

ヘッドライト下の大きなリブの後方と、シングルフレームのコーナー開口部の後方には、電氣的に開閉可能な冷却用のエアインテークが設置され、アクティブエアロダイナミクスと呼ばれるコンセプトを実現しています。効率を最適化するため、これらのエアインテークは、可能な限り閉じた状態になっています。スポーティな走行中は、エアインテークが開き、Y 字型の経路を通過したエアが、冷却器およびブレーキを冷却するためにホイールアーチへと送られます。

アクティブエアロダイナミクスコンセプトの 2 番目の要素は、リヤスポイラーです。リヤスポイラーは、車速に応じて 2 つの異なるポジションに展開します。リヤスポイラーは、ワイドなディフューザーを備えて完全にパネルで覆われたアンダーボディと密接に連携して機能します。これにより、エア



がリヤエンドからきれいに流れ、高速走行時に発生するリヤアクスルのリフトを完全に抑制します。アダプティブエアサスペンション（RS モデルに標準装備）装着車では、高速走行時にボディが下がることによって、エアフローがさらに改善され、ハンドリングの安定性が向上し、リフトが減少します。

Audi e-tron GT は、空力音響学の面でもトップレベルの数値を達成しています。フロントウィンドーには、ノイズ吸収ガラスが標準装備され、サイドウィンドーとリヤウィンドーも、オプションで同ガラスを装着することができます。包括的な防音対策により、室内空間の不快なノイズが排除されます。パッセンジャーセルの骨格には、熱間成形された超高張力鋼によるコンポーネントが採用されています。バッテリーハウジングはアルミニウムプロファイルから構成され、外板はすべてアルミニウム製です。

寸法：秀逸なグランツーリスモ

Audi e-tron GT は、典型的なグランツーリスモの寸法を備えています。ホイールベースは 2.90m、全長は 4.99m、全幅は 1.96m、全高はわずか 1.41m です。ラゲッジコンパートメントは 405ℓ の容量を備え（RS モデルでは 366ℓ）、ボンネット下に設置された 2 番目のラゲッジコンパートメントは、さらに 85ℓ のスペースを提供します。

ヘッドライトとライト

ヘッドライトとリヤライトは、Audi e-tron GT のエクステリアデザインの特徴的な要素であり、表現力豊かなエクステリアデザインをさらに強調しています。フロントとリヤの LED ライトは、明確な 3 次元モデリングを特徴とし、Audi e-tron GT のエモーショナルな外観を印象付けています。デイトタイムランニングライトは、ヘッドライト中央部に設置されたオプションのオーディィ レーザーライトのブルートリムとともに、印象的なライトシグネチャーを生み出します。リヤエンドに設置された彫刻的な造形のライトストリップは車幅全体に広がり、中央のラインから外側に向かってさらに大きなセグメントに変化して、Audi e-tron GT の外観をさらに力強く印象付けます。

Audi e-tron GT には、3 種類のヘッドライトが用意されています。すべてのヘッドライトには、ダイナミックターンシグナルを備えた LED ライトが標準装備されます。オプションで、マトリクス LED ヘッドライトを選択することも可能です。マトリクス LED ヘッドライトのハイビームは、他の道路ユーザーを幻惑することなく、路面を明るく照らし出します。Audi RS e-tron GT には、マトリクス LED ヘッドライトが標準装備されています。ヘッドライトの最上位仕様は、オーディィ レーザーライト付き HD マトリクス LED ヘッドライトです。このヘッドライトには、ロービームモジュールの隣にレーザースポットが設置されています。レーザースポットライトが有効となるのは、70km/h 以上で走行している場合で、ハイビームの照射距離を 2 倍に伸ばす効果があります。

カミングホーム&リービングホーム アニメーション：Audi e-tron GT のキャラクターを表現

HD マトリクス LED ヘッドライトは、もう 1 つの特徴的な機能を提供します。それは、カミングホーム&リービングホーム アニメーションです。リービングホームのライトシーケンスは、サウンドウェーブにヒントを得たものです。個々の照明エレメントは、素早く、そして力強く点灯し、2 回目の



シーケンスに移動する前に一時的に減光します。RS モデルのアニメーションは、さらにダイナミックに点灯します。

インテリアデザインとインテリア

Audi e-tron GT のインテリアは、スポーティさ、快適性、広さのすべてを等しく強調することで、究極のグランツーリスモにふさわしい雰囲気を出しています。この電気自動車のスポーツカーでは、持続可能な素材も重要な役割を果たしています。

インテリア：スポーティ、ラグジュアリー、快適

ドライバーを包み込むような「モノポスト」デザインを採用し、ドライバーに焦点を合わせたインテリアは、Audi e-tron GT を始めとするスポーティなアウディモデルの特徴となっています。ダッシュボード中央はわずかにドライバー側に傾けられ、立体的なインストルメントパネルは軽快でスリムな室内空間を演出しています。ダッシュボード上部は、大きくエレガントな弧を描いています。アウディバーチャルコックピットプラスは、このスペースの中で明確な存在感を示し、ピアノブラック仕上げのベゼルに囲まれた MMI タッチモニターは、インストルメントパネルの上に浮かんでいるように見えます。アンビエントライティングパッケージプラスを選択した場合、右側のセクションにはレーザー刻印されたバックライト付きの「e-tron」エンブレムが装着されます。

立体的なエレメントによって上下に分割されたインストルメントパネルの下部には、物理的なボタンを備え、標準装備される 3 ゾーンオートマチックエアコンディショナーシステムのコントロールパネルが設置されています。テクニカルな外見を与えられたフラットな形状のエアベントは、室内の幅広さを強調し、その両端はアルミニウム製のブラケットで囲まれています。フロントウィンドー下のダッシュボードは、大きな弧を描きながら左右のドアへとシームレスに繋がっています。スポーティなフロントドアトリムのデザインは、フロントセクションのフェンダーエッジに向かって直線的に伸びています。

運転席および助手席のシートポジションは、幅広いセンターコンソールを挟んで、スポーティな低い位置に設定されています。センターコンソールには、コンパクトなギアセクタースイッチが設置されています。そのスリムなデザインは、インテリアの軽快感を強調し、スイッチを操作すると非常に精密な触覚フィードバックを提供します。リヤシートには、大人が寛げるスペースが確保されています。素材面における妥協のない品質と優れた仕上げ加工は、アウディの製品開発と製造における細部へのこだわりを反映しています。

持続可能性が新しい付加価値を提供：素材、カラー、装備

優れたスポーツ性と持続可能性は、矛盾するものではありません。この組み合わせは、e モビリティにシフトするアウディの新しいラグジュアリーな姿を示すものです。Audi e-tron GT は、レザーを一切使用しないデザインパッケージを用意することによりこれを証明しています。14 ウェイ調整機能付きのスポーツシートの生地は、人工皮革と「カスケード (Kaskade)」素材の組み合わせ、または人工皮革とマイクロファイバー素材「ダイナミカ (Dinamica)」の組み合わせを採用しています。どちらも、使用済ペットボトル、テキスタイル、布の端切れなどから作成したポリエステル繊維を始めとする、リサイクル素材を使用しています。「カスケード」の一脚には、119 本のリサイクルペッ



トボトルが使用されています。「ダイナミカ」はアルカンターラと似た風合いの素材です。「カスケード」は、ウールなどの天然素材を思わせる仕上がりを特徴としており、そのステッチパターンはシングルフレームグリルからヒントを得ています。

スポーツシートプロは 2 種類のレザーのコンビネーションから成ります。RS デザインパッケージを選択すると、ダッシュボード上部、センターコンソールトリムなどにマイクロファイバーが採用され、レッドもしくはグレイのステッチによるハイライトが追加されます。フロアカーペットとフロアマットには、両モデルともエコニール製です。この素材は、生産廃棄物、布地やカーペットの端切れ、または役割を終えた漁網などによる 100%リサイクルナイロン繊維から構成されています。

Audi e-tron GT のインテリアに使われるすべての素材は、最高レベルの品質で加工されています。インストルメントパネルの広いアプリケーションエリアは、標準でグラファイトグレーまたはパラジウムシルバー（RS モデル）で塗装されています。オプションで、オープンポアウォールナットウッドまたはマットカーボンを選択することもできます。アンビエントライティングパッケージプラスは、ドアスピーカーのベゼルに至るまで、室内スペースを精細な光の効果で演出します。ドアを開けると、地面に「e-tron GT」のロゴが投影されます。さらに Audi RS e-tron GT には、Audi Sport のデザインエレメント、カラー、素材を使用して、ハイパフォーマンススポーツカーにふさわしい品質基準が設定されました。

フロントシートには、3 つの仕様が設定されています。Audi e-tron GT quattro には、電動 8 ウェイ調整機構を備え、人工皮革/パールナッパレザーのスポーツシートが標準装備されます。Audi RS e-tron GT には、電動 14 ウェイ調整機構とシートヒーター付きスポーツシートプラスが装着されます。両モデルとも、18 ウェイ調整機構、空気圧調整式サイドボルスター、空調コントロール、マッサージ機能（オプション）を追加した、スポーツシートプラスを選択することも可能です。スポーツシートプラスの両バージョンは、パフォーマンスレッド ハニカムパターン付きバックレストを特徴としています。RS モデルのシートには、バックレスト上部にベゼルで覆われた開口部が設置されています。シートとステアリングホイールには専用エンブレムが装着され、ペダルとフットレストはステンレススチール製です。Audi Sport GmbH のアウディエクスクルーシブプログラムを利用すると、レザー、ステッチ、シートベルトなどを、好みに応じてパーソナライズすることが可能です。

駆動および回生システム

アウディが提供するこの電気自動車のグランツーリスモには、2 種類の出力バージョンが設定され、ともにダイナミックなパフォーマンスを発揮します。Audi e-tron GT quattro は 0~100km/h を 4.1 秒で、RS モデルは 3.3 秒で加速します（いずれの場合もブーストモード使用時）。最高速度はそれぞれ 245km/h と 250km/h（リミッター作動）です。

Audi e-tron GT quattro に搭載されているフロント電気モーターは 175kW（238PS）を、リヤ電気モーターは 320kW（435PS）を発生します。両方の電気モーターは、厳しい走行環境に対応できるよう、それぞれのモーターに余力を残しています。そのため、個々の出力の合計値は、駆動システムの総出力 350kW（476PS）を大幅に上回っています。ローンチコントロールを経由してブースト



モードを起動した場合、最大390kW（530PS）の出力を2.5秒間利用できます。総トルクは630Nm（ブーストモードでは640Nm）です。Audi RS e-tron GTの場合、フロント電気モーターの出力は175kW（238PS）で同じですが、リヤモーターは強化されて335kW（456PS）を発生します。総出力は440kW（598PS）、総トルクは830Nmです。ブーストモードが起動した場合、出力は一時的に475kW（646PS）にまで増加します。

Audi e-tron GTに搭載される永久磁石同期モーターは、素晴らしい効率を誇ります。電気モーター、パワーエレクトロニクス、トランスミッションは、コンパクトなユニットを形成して、前後アクスルに設置されています。リヤの電気モーターは、2速トランスミッションを介してトルクをホイールに伝達します。ショートレシオの1速ギアはローンチコントロールとブースト機能を使用した場合に、素晴らしい加速を実現します。この機能を使用しない場合、Audi e-tron GTは2速で発進します。ロングレシオの2速ギアは効率向上に貢献し、十分な余力を残して車両を駆動します。

quattro システム：電動4輪駆動

Audi e-tron GT quattro および Audi RS e-tron GT は、通常走行時は4輪駆動に設定され、アウディドライブセレクトダイナミックハンドリングシステムで「エフィシェンシー」モードを選択した場合のみ前輪駆動が優先されます。その場合でも、滑りやすい路面を走行中、ハイパワーが必要になった場合、高速コーナリング時などには、機械式 quattro ドライブと比較して、5倍の速さでリヤの電気モーターにより多くのトルクが配分されます。電動4輪駆動システムは、前後アクスル間の駆動トルク配分を、連続的かつ完全可変に、千分の1秒単位で調整します。アウディが40年以上前に市場に導入した quattro フルタイム4輪駆動の原理は、まったく新しい魅力的な技術レベルへと進化を遂げています。

ドライバーがアクセルペダルを緩めると、駆動システムはコースティングモードへ切り替わり、このグランツーリスモはエレガントかつ効率的に惰力走行を行います。対照的に、アウディドライブセレクトで「ダイナミック」を選択している場合、アクセルから足を離すとオーバーランモードが起動して、エネルギー回生を行います。走行モードに関わらず、ドライバーはステアリングホイールのパドルにより回生レベルを選択することができます。あるいはMMIシステムで「自動」を設定することも可能です。後者の場合、ナビゲーションルートと車載センサーからのデータに基づき、プレディクティブエフィシェンシーアシストがコースティングと回生を切り替えます。

制動時、最大0.3Gまでの減速は電気モーターによって行われます。これは日常走行の大部分をカバーします。これにより、最大265kWの回生が可能になります。油圧を使用する通常のホイールブレーキは、急減速した場合にのみ作動しますが、その場合も車両がほぼ完全に停止するまで回生機能は起動状態に留まります。このグランツーリスモは、フル加速、スポーティな走行時、コースティング、ブレーキ回生を含むあらゆる走行条件において、ブレーキ、サスペンション、ドライブ、パワーエレクトロニクスなどのコントロールシステムが緊密かつ迅速に連携して作動することにより、素晴らしい安定性を維持します。



バッテリーとサーマルマネジメント

Audi e-tron GT quattro および Audi RS e-tron GT のリチウムイオンバッテリーは、前後アクスル間の最も低い位置に搭載されています。それによりスポーツカーならではの低い重心を実現すると同時に、50:50 に近い理想的な前後重量配分を達成しています。

この高電圧バッテリーは、両バージョンともに実際の使用容量 **84kWh** のエネルギー容量（総容量 **93kWh**）を備えています。このバッテリーは、**33** のセルモジュールが統合されており、各モジュールは柔軟なアウタースキンを備えた **12** 個のポーチセルから構成されています。**30** のモジュールが低い位置にあり、後部の広いくぼみはリヤシート乗員の足元スペースを提供します。それより高いリヤシート下の部分に、さらに **3** つのモジュールが搭載されています。接続部、ヒューズ、メインコントロールユニットなどはセンターコンソール下に設置されています。**800V** のシステム電圧は、高い連続出力を可能にし、充電時間を短縮します。さらに、配線に必要な重量とスペースを削減します。

モジュールを含むバッテリーの内部構造、それを取り囲むフレーム、カバープレートは、すべて軽量アルミニウム製です。バッテリーシステムは **28** 本のスクリューでボディに固定され、高いボディ剛性と優れた衝突安全性に大きく貢献しています。セルスペースの下にはフラットな押出成型による複合構造があり、その中を低温回路のクーラントが循環しています。バッテリーの理想的な作動温度は **30~35°C** です。

ハイテクサーマルマネジメント：4つの独立した冷却回路

4 つの個別の冷却回路が、それぞれ独自の温度レベルで高電圧コンポーネントと室内の温度を調整しています。各回路は、必要に応じて柔軟に相互接続することが可能です。ドライバーが高出力を連続して要求した場合、バッテリー冷却回路がバルブを介してエアコンディショナーシステムの冷媒回路と接続されて冷却性能が強化され、駆動システムのパフォーマンスが高レベルで維持されます。冷媒回路は、バッテリーの温度が **50°C** にまで上昇する可能性がある急速充電時にも活用されます。

Audi e-tron GT には、高電圧コンポーネントの廃熱を使用して室内を暖めるヒートポンプも標準装備しています。ヒートポンプを使用することによって、とくに冬季にシートヒーターではなく空調コントロールを使用せざるを得なくなった場合、航続距離の損失を最小限に留めることができます。**myAudi app** を使用すると、スマートフォン経由で車両の充電を行ったり、乗車前に空調コントロールを作動させて室内の温度を調整したりすることができます。Audi e-tron GT には、オプションで、ドアミラーやリヤウィンドーヒーターなども作動させることができる、デラックスサーマルコンディショニングシステムを装備することが可能です。

11kW~270kW：AC および DC 充電

このグランツーリスモの充電ポートは、フロントホイール後方に設置されています。左側に AC（交流）コネクタ、右側には DC（直流）コネクタが設置されています。Audi e-tron GT には、**2** 本の充電ケーブルが付属しています（公共充電ステーション用のモード **3** ケーブルと、自宅用充電システムの「compact」）。また、インテリジェントな充電システムである「connect」を利用することも可能です。「connect」を装備すると、インターネット接続により、myAudi アプリを介したコント



ロールと機能のアップデートが可能になります。適切な家庭用エネルギー管理システムと連携させれば、電気料金が最も安い時間帯を選択して充電するなど、さまざまなスマート機能を活用できます。

Audi e-tron GT は、標準で 11kW の AC 充電に対応しているため、一晩でバッテリーを充電することが可能です。22kW に対応したオプションの充電器も、後日発売される予定です。急速 DC 充電ステーションを利用すると、最大 270kW の出力で充電することが可能です。これにより、わずか 5 分間の充電で、最大 100km を走行することができます。理想的な条件では、残量 5% から 80% までの充電に要する時間は 22.5 分です（欧州での充電環境の場合）

ヨーロッパのお客様は、アウディブランド独自の e-tron 充電サービスを利用することができます。現在、約 20 万の公共充電ステーションが設置されています。それらの充電ステーションは、1 枚のカードで使用可能です。アウディのお客様は、26 か国において固定料金が設定されています。e-tron 充電サービスでは、ヨーロッパ全土に急速充電ステーションを展開する IONITY（イオニティ）のネットワークを利用することができます。契約初年度に、アウディは頻繁に長距離を走るユーザーのために電気料金を安く設定した「トランジットレート」の基本料金を負担します。

NEDC サイクルにおける Audi e-tron GT quattro の電力消費量は平均 19.6~18.8kWh/100km、RS モデルは 20.2~19.3kWh/100km です。平均航続距離は最大 487km および 472km（RS モデル）です（欧州 WLTP モードに基づく）。

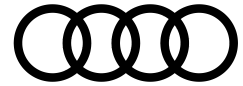
サスペンション

サスペンションは、Audi e-tron GT quattro および Audi RS e-tron GT の調和の取れた走行特性を形成する上で、決定的に重要な役割を果たしています。Audi e-tron GT は、スポーティな走行における最高のパートナーとなり、極端なコンディションでも自信を持って、リラックスした走りが可能です。これによって、グランツーリスモのコンセプトを完璧に体験することができます。

サスペンションには、スポーティなダブルウィッシュボーン構造が採用されています。リンクやサブフレームを含むほとんどすべての部品は、アルミニウム鋳造品または鍛造品です。電動パワーステアリングは、スポーティでダイレクトなレシオが設定され、洗練された作動を特徴としています。オプションで、オールホイールステアリング（4 輪操舵）も提供されます。このシステムは、スピンドルドライブを使用することにより、リヤホイールを最大 2.8 度回転させることが可能です。速度が約 70km/h 以下の領域では、リヤホイールは、取り回しを向上させるためにフロントホイールとは逆方向に回転し、およそ 80km/h 以上の速度では、走行安定性を高めるために同じ方向に回転します。

最大 21 インチ、直径 420mm：ホイールとブレーキ

アロイホイールのラインナップは、Audi e-tron GT quattro 用の 19 インチから両バージョン用の 21 インチまで、幅広く用意されています。20 インチホイール（Audi RS e-tron GT では標準装備）は、3 種類のデザインから選択することが可能です。ホイールの素材となるアルミニウムの新しい製造プロセスを導入したことにより、生産工程における CO₂ 排出量が大幅に削減されました。そしてほぼすべてのタイヤは、低い転がり抵抗を特徴としています。21 インチホイールには、パフォーマンス



ス重視のタイヤも用意されています。

2つのバージョンでは、ブレーキにも違いがあります。**Audi e-tron GT quattro**ではスチール製ディスクが標準装備されますが、**RS**モデルはタングステンカーバイドコーティングを施した鋳鉄ディスクを採用しています（**Audi e-tron GT quattro**にもオプション装着可能）。このコーティングはブレーキ性能を高め、摩耗とブレーキダストを低減します。また、ホイールブレーキをあまり使用しない電気自動車に見られる、典型的な現象であるディスクの錆も発生しません。フロントのカーバイドディスクには、固定式 **10**ピストンキャリパーが組み合わされています。さらに、両モデル用のオプションとして、きわめて軽量かつパワフルで、高い耐久性を誇るカーボンファイバーセラミックディスクも装着できます。フロントディスクの直径は **420mm**です。**10**ピストンキャリパーは標準ではグレーですが、オプションでレッドもしくはブルーにペイントすることもできます。

精密なコントロール：エアサスペンションとダンピング

アダプティブサスペンションは、**Audi e-tron GT quattro**にオプション設定され、**RS**モデルには標準装備されています。**3**つのチャンバーを備えるエアサスペンションは快適な乗り心地を提供し、車高を標準値から最大 **22mm** 下降させるか、最大 **20mm** 上昇させることができます。各スプリングのチャンバーは、運転状況に合わせて個別に作動させることが可能で、電子制御式ダンパー（標準装備）と緊密に連携します。両システムともに、中央制御ユニットであるエレクトロニックシャシープラットフォーム（ECP）によって管理されます。

アウディドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステム（標準搭載）を操作することによって、エアサスペンション、ダンパー、電気モーター、**2**速トランスミッション、リヤアクスルディファレンシャルロックを好みの設定にすることができます。ドライバーは、スイッチを使用して「コンフォート」、「エフィシエンシー」、「ダイナミック」、「インディビジュアル」の各モードを切り替えることができます。「エフィシエンシー」モードでは、エアフローを向上させるために車高が下げられ、最高速度も **140km/h** に制限されます。「ダイナミック」モードを選択すると、電動 **4**輪駆動システムやサスペンション、可変空力システムはスポーティな設定に変化します。

ダイナミックなハンドリング：リヤアクスルディファレンシャルロック

電動 **4**輪駆動システムは、リヤアクスルのメカニカルコンポーネントによって補完されています。**Audi e-tron GT quattro**は、固定ロック率を備えたディファレンシャルロックを標準装備しています。このシステムは、トラクションと安定性を向上させ、負荷変動による車両の挙動を抑制します。さらに、コーナリング時には、ホイールにわずかな制動をかけ、ステアリングにわずかに介入することで、ドライバーをサポートします。また、電子制御式リヤアクスルディファレンシャルロックは、**Audi e-tron GT quattro**ではオプション、**Audi RS e-tron GT**では標準装備されます。このシステムで中心的な役割を果たしているのが、マルチプレートクラッチです。このクラッチは完全に可変制御され、ロック率は **0~100%**に設定されています。ドライバーは、滑りやすい路面の走行時や急ブレーキの際に、このシステムの恩恵を実感することができます。この場合、ロックが完全に開き、エレクトロニックスタビリゼーションコントロール（ESC）は、各ホイールを非常に正確に制動することができますようになります。



運転支援システム

Audi e-tron GT quattroとAudi RS e-tron GTは、幅広い運転支援システムを搭載しています。オーディプレセンスフロントと、オーディプレセンスベーシック セーフティシステムは標準装備されています。車線逸脱警告システムやクルーズコントロールシステムも標準となっています。オプションとして、「Tour」、「City」、「Park」の3種類のパッケージが用意されています。アシストパッケージプラスは、これら3つのパッケージをまとめたものです。また、ナイトビジョンアシストおよびサラウンドビューカメラはオプション設定されます（「Park」パッケージには標準）。すべてのシステムは、センサーにより車両周辺環境の精密なモデルを継続的に計算する、セントラルドライバーアシスタンスコントローラー（zFAS）を使用しています。

多くの状況で前後および左右方向のガイダンスを提供してドライバーを支援するアダプティブクルーズアシストは、「Tour」パッケージでもっとも重要なシステムです。プレディクティブエフィシエンシーアシスト（標準装備）が作動している場合、できるだけエネルギーを消費しないよう、アダプティブクルーズアシストが加速と減速を制御します。

リモート操作を可能とするパークアシストプラスは、「Park」パッケージのハイライトの1つです（欧州仕様）。このシステムを使用すると、ボタンを押すだけでAudi e-tron GTを縦列駐車させたり、パーキングスペースに出し入れさせたりできます。但し、車両の操作には、ドライバーが責任を負う必要があります。ドライバーは、車内または車外から車両を操作できます。車外にいる場合は、スマートフォンのmyAudi appを介して駐車操作を開始します。対応するボタンを押し続けることで、車両は必要に応じて切り返しを行いながら駐車スペースに入っていきます。最終位置に達すると、駆動システムの電源がオフになり、パーキングロックが作動して、ドアがロックされます。

e-tron スポーツサウンド

このダイナミックな芸術作品は、サウンドにもこだわっています。オーディは、Audi e-tron GTのためにユニークな走行サウンドを作成しました。オプションのe-tron スポーツサウンド（RS e-tron GTでは標準）は、ラゲッジコンパートメントに設置された2つのコントロールユニットとアンプから構成されています。このユニットは、エクステリアとインテリアのサウンドを別個に生成し、車内と車外にそれぞれ2つ設置したスピーカーから再生します。システムは、電気モーターの回転速度、負荷、車速などのパラメーターに関するデータに基づいてデジタルサウンドを生成します。このサウンドは、駆動システムの作動を連想させる絶妙な合成音です。

ドライバーは、オーディドライブセレクトを経由してサウンドを調整することができます。「エフィシエンシー」モードでは、法律が定める最低音量をクリアする音響車両警報システム（AVAS）が起動します。「コンフォート」モードでは、エクステリアサウンドがより豊かなものになり、音質が向上します。



「ダイナミック」モードでは、エクステリアサウンドがさらにパワフルになり、インテリアサウンドも追加されます。オプションの **e-tron** スポーツサウンドは、先進的なグランツーリスモにふさわしい、スポーティでボリューム感溢れる高品質なサウンドを生成します。

操作系とディスプレイ

操作系とディスプレイに関して、**Audi e-tron GT quattro** と **Audi RS e-tron GT** は、最新世代のオーディオが採用しているコンセプトに従い、すべての情報は 2 つの大型ディスプレイに表示されます。オーディオバーチャルコックピットプラス (12.3 インチ) は、マルチファンクションステアリングホイールに設置されたスイッチまたはセントラル MMI タッチディスプレイ (10.1 インチ) 経由で操作することができます。**Audi e-tron GT quattro** および **Audi RS e-tron GT** の操作系とディスプレイは、先進的な第三世代モジュラーインフォテインメントプラットフォーム (MIB 3) をベースにしています。

フラットボトムステアリングホイールの後方に配置されたオーディオバーチャルコックピットプラスは、1,920x720 ピクセルの高解像度を備え、ドライバーは「クラシック」、「スポーツ」「e-tron」の 3 種類のディスプレイモードを切り替えることができます。「e-tron」ビューを選んだ場合、ドライブトレインの状態と電気走行に関する、重要な全情報を表示する大型パワーメーターが表示されます。ドライバーは、テキスト入力時フィードバックを感じることができる MMI タッチディスプレイを介して、インフォテインメント、ナビゲーション、コンフォート機能を操作することができます。また、日常会話にも対応したボイスコントロールシステムを活用することもできます。

オプションのヘッドアップディスプレイは、走行に関する重要な情報をフロントウィンドーに投影します。これらの情報はドライバーの視界内、前方約 3m の位置に浮いているように表示されます。パーソナライゼーション機能は、優れた利便性を提供します。最大 6 人のユーザーが、それぞれの好みの設定を個別のプロファイルに保存できます。データはユーザーの **myAudi** アカウントに保存され、運転席のドアが開いたときに、そのドライバーの設定が呼び出されます。

インフォテインメントと Audi connect

Audi e-tron GT を外の世界に接続する 11 本のアンテナは、すべて外部からは見えない位置に設置されています。このアンテナは、オーディオ、LTE、Bluetooth、GPS 信号を送受信し、この電気自動車のグランツーリスモを様々な方法で外部環境と接続します。お客様は、スマートフォンの **myAudi** app を介して多くの機能を制御することができます。

MMI ナビゲーションプラスメディアセンターは、**Audi e-tron GT** の両バージョンに標準装備されます。このシステムは、LTE-Advanced (LTE アドバンスド) 規格に対応し、乗員のモバイル機器を接続できる Wi-Fi ホットスポット機能を備えています。ナビゲーションシステムは、以前に走行したルートに基づいて目的地を提案します。

Audi connect オンラインサービスは、2 つのパッケージにより構成されています。「**Audi connect**



リモート&コントロール」は、車両のロックとロック解除、充電、空調コントロールといったリモート制御を可能にします。もう一方の「Audi connect ナビゲーション&エンターテインメントパッケージ」には、オンライン交通情報、衛星地図を活用したナビゲーション、Amazon Alexa などのサービスが含まれています。

Audi connect が提供する e-tron ルートプランナーは、急速充電ステーションを利用して、可能な限り最短の充電時間で目的地に到着できる最速のルートを計算します。その際、交通データとドライバーの運転プロフィールが考慮されます。さらに、e-tron ルートプランナーは車両のサーマルマネージメントにも接続されています。ドライバーがナビゲーションシステムの目的地として急速充電ステーションを選択した場合、急速充電が可能になるようにサーマルマネージメントのシステムを設定します。目的地として設定したステーションに到着する約 30 分前に、サーマルマネージメントはバッテリーの冷却を強化して、充電時間が最短になるよう準備を開始します。一方、冬季に車両を始動した直後でバッテリーがまだ非常に冷たい場合は、急速充電のためにバッテリーを温めます。

エンターテインメントシステムは、洗練されたハードウェアによってサポートされています。2 つのバージョンで利用可能なアウディフォンボックスは、スマートフォンを車両のアンテナに接続し、非接触充電にも対応しています。RS モデルで標準の Bang & Olufsen プレミアムサウンドシステムは、710 ワットの出力を提供します。設置される 16 のスピーカーのうち、2 つの 3D スピーカーが A ピラーに配置されています。

クラフトマンシップとスマートファクトリーの融合

Audi e-tron GT は、ドイツ国内で生産されるアウディ初の電気自動車です。組み立てはネッカーズルムの拠点にあるベリンガーホフ工場で行われます。Audi e-tron GT を生産するために、この小規模生産施設は拡張および改装されました。それにより、以前からこの工場勤務する熟練工の技に、デジタルプロセスとスマートテクノロジーが加えられました。工場の拡張作業にあたり、プロダクションプランナーは新しいバーチャルメソッドを採用しました。Audi e-tron GT の生産行程は、物理的なプロトタイプなしに設計されました。これは、アウディにとって画期的な出来事です。

ボディショップは、熟練工の職人技と自動化された生産技術を最大限に組み合わせています。生産工程は、各ボディが 2 回通過する革新的なボディ組立ラインから構成されています。その中心的な役割を果たしているのが、2 ウェイフレイマーと呼ばれるもので、10 台のロボットが車両外側と内側を組み付けます。この組み立てラインは、サイドパネルを接合する全ステップを 1 つのシステムで行うため、既存のフロアスペースで Audi e-tron GT の生産が可能になりました。新たに採用されたボディのインライン測定手順は、さらに高い精度を実現し、わずかな偏差にも非常に迅速に対応することができます。ボディ組立ラインの最終段階では、熟練工による精密な作業が実施されます。ここでは、経験豊かな作業員がアドオンパーツを装着し、完成したボディを検査します。

Audi e-tron GT は、ハイパフォーマンススポーツカー Audi R8 と同じ組み立てラインを使用しています。技術面でまったく異なる 2 種類の市販モデルが同じラインで生産されるのは、フォルクスワーゲングループでもこの工場だけです。拡張された組立ラインは、以前の 16 サイクルから 36 サイクル



へと変更されました。両モデルとも、自動運転の車両輸送と電動モノレールシステムによって移送され、組み立てラインの各ステーションでは人間とロボットが並んで作業を行います。完成した全ての車両は、高速道路や都市部を含む公道で 40km の走行テストが実施されます。

ベーリンガーホフ工場における Audi e-tron GT quattro と Audi RS e-tron GT の生産は、カーボンニュートラルな方法で行われます。ネッカーズルム拠点全体と同じく、製造には 100%グリーン電力を使用し、バイオガスを燃料とする熱電併給プラントが、車両の生産において必要な熱を供給します。どうしても避けられない CO₂ の排出は、認証を受けた気候保護プロジェクトのカーボンクレジットを使用して相殺されます。

アウディはまた、資源を節約する車両の生産方法にも取り組んでいます。たとえば、ベーリンガーホフ工場での生産では、紙や梱包材の使用をできるだけ避け、クローズドループシステムを採用しています。サイドウォールフレームの製造などでプレスショップに蓄積されたアルミニウムシートの端材は、サプライヤーに返送され、リサイクルされてアウディが再使用します。アウディはまた、プラスチックのリサイクルに関するパイロットプロジェクトを立ち上げました。プラスチックの端材は繊維に加工され、3D プリンターを使用して、作業員が使用する組立作業の補助具が製作されています。

(以上)